## 【検体採取方法および処置方法】

1) 尿道からの採取　図1

無傷の上皮細胞が多数得られるように採取してください．膿および滲出液は検体として不適当です．

①検体採取の1時間前より排尿しないでください．

②採取用スワブを用意し，回転させながら尿道に2～4cm挿入してください．

③強く回転させて上皮細胞を剥がし，1～2秒間そのままにした後，スワブを引き抜いてください．

2) 子宮頸管からの採取　図2

無傷の立方または円柱上皮細胞が多数得られるように採取してください．扁平上皮細胞は検体として不適当です．

①膣鏡を用いて露出した子宮頸部（外子宮口を中心にして）を付属のスワブで軽く清拭し，過剰な粘液を除去してください．

②外子宮口より子宮頸管内に採取用スワブを挿入してください（扁平-円柱境界部より奥に入れてください）．

③頸管の全表面に触れるように5～10秒間強く回転させながら細胞を剥がし，膣壁に接触しないようにスワブを引き抜いてください．

3) ぬぐい液（尿道または子宮頸管からの擦過細胞）の処置方法

①検体採取後直ちにスワブを容器底部まで入れてキャップをしてください．（容器番号57）

②容器を2～8℃で冷蔵保存してください．

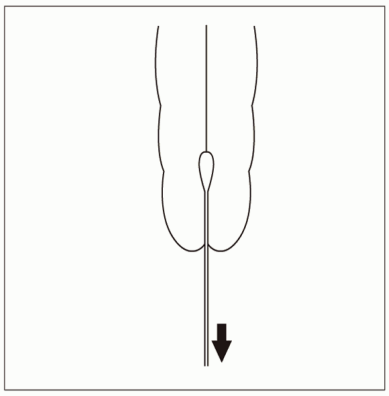

図1
尿道からの検体採取

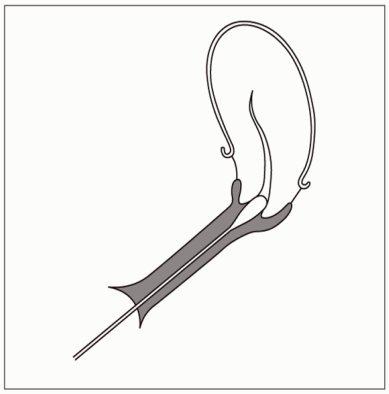

図2
子宮頸管からの検体採取

---

1) 初尿の採取

①検体採取の1時間前より排尿しないでください．

②起床時または来院時の初尿約10mLを採尿カップに採取してください．

2) 初尿の処置方法

①採尿後速やかに容器に入れ，密栓してください．（容器番号55）

②容器を2～8℃で冷蔵保存してください．